



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 コメ兵ホールディングス 上場取引所 東 名  
コード番号 2780 URL https://komehyohds.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児  
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 吉田 浩之 TEL 052-249-5366  
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月10日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	119,459	38.7	7,452	44.2	7,479	38.3	5,025	35.6
2023年3月期	86,113	21.0	5,168	39.1	5,406	43.3	3,706	64.1

（注）包括利益 2024年3月期 5,360百万円（26.6%） 2023年3月期 4,235百万円（74.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	458.65	—	19.2	13.5	6.2
2023年3月期	338.30	—	16.7	12.5	6.0

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	64,039	28,770	44.4	2,592.62
2023年3月期	46,753	24,247	51.2	2,184.37

（参考）自己資本 2024年3月期 28,405百万円 2023年3月期 23,932百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△548	△3,215	9,425	18,091
2023年3月期	1,536	△1,951	1,849	12,283

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 60.00	百万円 657	% 17.7	% 3.0
2024年3月期	—	44.00	—	44.00	88.00	964	19.2	3.7
2025年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		21.1	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,000	21.3	2,930	△8.7	2,880	△12.0	1,850	△13.4	168.85
通期	140,000	17.2	8,000	7.3	7,900	5.6	5,200	3.5	474.61

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社コメヒョウルクスを設立し、グループ会社化したため、連結の範囲に含めております。

また、当社連結子会社であったKOMEHYO HONG KONG LIMITEDは、当社連結子会社であるBRAND OFF LIMITEDを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	11,257,000株	2023年3月期	11,257,000株
2024年3月期	300,715株	2023年3月期	300,628株
2024年3月期	10,956,342株	2023年3月期	10,956,372株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては、当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 企業集団の状況 .....	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(連結損益計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行され、経済活動の正常化が進みました。その一方、国際情勢に端を発した円安による物価上昇傾向による個人消費への影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、持続可能な社会の実現に向けた動きとそれに伴うリユースへの意識の高まりを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。

当社グループは、「つくる人に敬意をもち、つなぐ人に感謝し、手にする人に感動を提供することで、循環型社会の共感を創っていきます」をMISSION (存在意義) に掲げております。このMISSIONのもと、国内外で健全なリユース市場の形成に寄与するとともに、多くの方に“リユースは身近で便利なもの”と感じていただける取り組みを推進し、VISION (目指す姿) である「リユースを『思想』から『文化』にする」の実現を目指します。

こうした考えのもと、グループ全体でVISIONの達成に向け取り組んだ結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は119,459百万円 (前期比38.7%増) で増収となりました。ブランド・ファッション事業では、株式会社コメ兵及び株式会社K-ブランドオフは過去最高売上高を達成する等、大幅な増収となりました。また、タイヤ・ホイール事業においても、タイヤのWEB販売が好調に推移したこと等により増収となりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、一部商品の相場変動の影響を受け、売上総利益率は低下したものの、売上高増加に伴う売上総利益の増加等の結果、営業利益は7,452百万円 (同44.2%増)、経常利益は7,479百万円 (同38.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,025百万円 (同35.6%増) と、いずれも大幅な増益となりました。

連結業績 (単位：百万円)	前期 (2023年3月期)	当期 (2024年3月期)	前年比 増減率	前年比 増減額
売上高	86,113	119,459	38.7%	33,346
営業利益	5,168	7,452	44.2%	2,283
経常利益	5,406	7,479	38.3%	2,072
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,706	5,025	35.6%	1,318

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、国内のグループ会社では、株式会社コメ兵で商品編集型のand RELAY BY KOMEHYO及び若い世代をターゲットにしたKOMEHYO SHIBUYAに加え、買取専門店を41店舗出店しました。株式会社K-ブランドオフでは販売店のBRAND OFF金沢フォーラス店の他、買取専門店 (FC加盟店舗) を13店舗出店しております。また、海外のグループ会社では、販売店舗をBRAND OFF LIMITED (香港) で2店舗、名流国際名品股份有限公司 (台湾) で1店舗を出店しました。さらに、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール) では1拠点で買取りを開始しました。

中古品仕入高については、株式会社コメ兵では「安心できる“いつもの” “近くの” 場所での買取」をコンセプトとしたイベント買取や買取専門店の新規出店等を積極的に行ったことに加え、プロモーション強化やキャンペーンにより既存店の強化を図りました。また、小売店舗の品ぞろえを充実させるために、個人買取では人気商品を中心に踏み込んだ買取価格を提示して買切り、法人仕入れも積極的に活用しました。

販売については、ECとコンタクトセンターを起点としたオンラインでの接点強化、訪日外国人を含めた来店者数の増加に対応するための店舗在庫の充実、お客さまとの関係性を深める施策及び国内外で複数店舗のブランドオフ屋号の小売店舗の改装を実施しました。また、個人買取が好調に推移したことにより、小売り向け商品を充実させたうえで法人販売を強化するとともに、株式会社KOMEHYOオークションと株式会社K-ブランドオフそれぞれが運営する法人向けオークションを強化しました。

営業利益については、仕入れが好調に推移したことで小売売上高が順調に推移し、さらに法人販売を強化したことにより大幅に売上高が増加した結果、一部商品の相場変動の影響を受け、売上総利益率は低下したものの、売上総利益が増加したことに加え、販売費及び一般管理費は計画通りにコントロールできたことが奏功しました。

以上の結果、当連結会計年度の当セグメント売上高は114,339百万円 (前期比40.8%増)、営業利益は6,891百万円 (同41.9%増) となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ、ホイール及びカスタム用パーツの販売については、特にタイヤのWEB販売及び自社で企画したホイールの販売が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当セグメント売上高は5,073百万円(前期比5.0%増)、営業利益は267百万円(同8.9%増)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、店舗の賃貸管理の他、グループ会社の主要な店舗をグループ会社に賃貸しております。

当連結会計年度の当セグメント売上高は287百万円(前期比0.3%増)、営業利益は86百万円(同2.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、64,039百万円(前期比37.0%増)となり、前連結会計年度末に比べ17,285百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金4,826百万円、売掛金1,659百万円、商品5,634百万円、預け金981百万円、流動資産のその他(短期貸付金等)1,488百万円、建物及び構築物(純額)839百万円、有形固定資産のその他(純額)212百万円、無形固定資産のリース資産478百万円、無形固定資産のその他(ソフトウェア等)316百万円、繰延税金資産181百万円、差入保証金449百万円の増加によるものであります。

負債合計は35,269百万円(同56.7%増)となり、前連結会計年度末に比べ12,763百万円増加いたしました。これは主に買掛金183百万円、短期借入金6,639百万円、1年内返済予定の長期借入金2,421百万円、流動負債のリース債務158百万円、未払金246百万円、未払法人税等457百万円、賞与引当金243百万円、流動負債のその他(預り金等)213百万円、長期借入金1,711百万円、固定負債のリース債務376百万円、資産除去債務189百万円の増加によるものであります。

純資産は28,770百万円(同18.7%増)となり、前連結会計年度末に比べ4,522百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益5,025百万円の計上、為替換算調整勘定277百万円の増加が、剰余金の配当865百万円を上回ったことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は44.4%(前連結会計年度末は51.2%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの概況は次のとおりであります。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、5,808百万円増加し、18,091百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は548百万円となりました(前期は1,536百万円の獲得)。

これは主に、売上債権の増加額1,650百万円、棚卸資産の増加額5,597百万円、未収入金の増加額728百万円及び法人税等の支払額1,894百万円が、税金等調整前当期純利益7,205百万円、減価償却費1,658百万円及び賞与引当金の増加額240百万円を超過したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3,215百万円となりました(前期は1,951百万円の使用)。

これは主に、店舗出店等に伴う有形及び無形固定資産の取得による支出2,717百万円並びに差入保証金の差入による支出493百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は9,425百万円となりました(前期は1,849百万円の獲得)。

これは主に、短期借入金の純増額6,624百万円及び長期借入れによる収入4,500百万円が、長期借入金の返済による支出366百万円、リース債務の返済による支出393百万円及び配当金の支払額865百万円を超過したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	51.2	44.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.7	68.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	10.7	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	25.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2024年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、物価上昇傾向等により、経営及び消費者動向への影響が考えられます。

このような状況を勘案し、引き続き買取専門店の新規出店や既存店の強化等を通じて、個人のお客さまからの中古品の買取を強化するとともに、小売、WEB及び法人販売の強化を国内外で図ること等により、通期売上高は140,000百万円を見込んでおります。

利益面については、グループ各社の収益力向上に取り組んでまいります。法人間取引相場が下降した後、横這いが継続していることで、前期と比べて売上総利益率が上昇しづらい状況であり、出店等、持続的な成長に向けた国内外での積極的な投資の増加を見込み、第2四半期累計では減益になることを想定しております。しかしながら、中古品の買取強化による良質な在庫の確保、適正な価格コントロール、適切な販売チャネルへの商品振り分けに注力することにより、下期及び通期では増益となり、売上高営業利益率は5.7%となる見込みであります。

次期の連結業績については、景況感の急激な変化や予期できない天候不順等が発生しないことを前提条件として、売上高140,000百万円、営業利益8,000百万円、経常利益7,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5,200百万円を見込んでおります。

連結業績予想 (単位：百万円)	2025年3月期 第2四半期累計	2025年3月期 通期
売上高	64,000	140,000
営業利益	2,930	8,000
経常利益	2,880	7,900
親会社株主に帰属する当期純利益	1,850	5,200

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営戦略上の重要政策として認識しております。将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対する業績に応じた利益還元として、配当性向20%程度を目安に配当を実施してまいります。

2024年3月期については、期末配当金を1株当たり44円とし、中間配当金（1株当たり44円）を含めた年間配当金を88円とさせていただきます。

なお、2025年3月期については、上記方針のもと配当性向20%程度を目安に、1株当たり年間配当金を100円（中間配当金50円、期末配当金50円）と予定しております。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
2025年3月期予想	50円00銭	50円00銭	100円00銭
2024年3月期実績	44円00銭	44円00銭	88円00銭

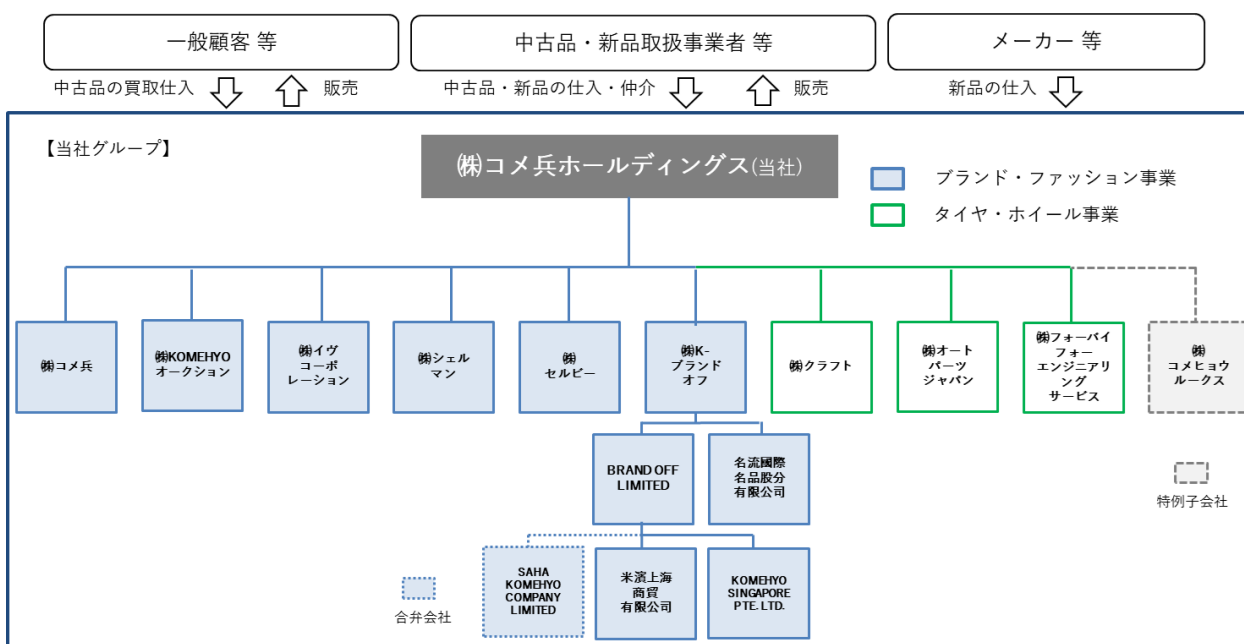
## 2. 企業集団の状況

当社グループは、グループのVISION（目指す姿）である「リユースを『思想』から『文化』にする。」を実現するため、グループ会社が一丸となって各事業に取り組んでおり、「ブランド・ファッション事業」、「タイヤ・ホイール事業」、及び「不動産賃貸事業」を展開しております。

「ブランド・ファッション事業」は国内向け事業では、株式会社コメ兵並びに株式会社K-ブランドオフ、株式会社KOMEHYOオークション、株式会社イヴコーポレーション、株式会社シェルマン及び株式会社セルビーにおいて中古品をメインとした宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料、きもの、カメラ、楽器等の買取・仕入・販売・仲介及びオークション運営を行っております。海外向け事業では、主に、BRAND OFF LIMITED（香港）及び名流国際名品股份有限公司（台湾）において宝石・貴金属、時計等の買取・販売を、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD.（シンガポール）においては宝石・貴金属、時計等の買取を行っております。

「タイヤ・ホイール事業」は、株式会社クラフト、株式会社オートパーツジャパン及び株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービスにおいて、乗用車用タイヤ、アルミホイール、自動車用品及び部品の企画、制作及び販売サービスを行っております。

「不動産賃貸事業」は、店舗の賃貸管理のほか、グループ会社の主要店舗をグループ会社に賃貸等をしております。なお、2023年9月に特例子会社である株式会社コメヒョウルークスを設立いたしました。



## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現状は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用については、同業他社の動向や、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針ではありますが、現時点においては未定であります。



4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,382,235	15,208,866
売掛金	2,257,704	3,917,182
商品	18,669,096	24,303,344
貯蔵品	36,371	49,811
預け金	1,901,261	2,883,068
その他	2,076,003	3,564,627
流動資産合計	35,322,672	49,926,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,610,866	9,921,349
減価償却累計額	△4,831,257	△5,301,905
建物及び構築物 (純額)	3,779,608	4,619,444
土地	1,644,961	1,644,961
リース資産	113,584	169,796
減価償却累計額	△101,471	△108,061
リース資産 (純額)	12,112	61,735
建設仮勘定	33,530	156,906
その他	2,249,869	2,577,795
減価償却累計額	△1,475,565	△1,591,434
その他 (純額)	774,304	986,361
有形固定資産合計	6,244,516	7,469,408
無形固定資産		
のれん	528,720	449,586
リース資産	273,934	752,061
その他	1,353,425	1,669,547
無形固定資産合計	2,156,080	2,871,194
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,135,358	1,316,596
退職給付に係る資産	4,882	41,717
差入保証金	1,646,422	2,095,488
その他	243,544	318,168
投資その他の資産合計	3,030,208	3,771,971
固定資産合計	11,430,805	14,112,574
資産合計	46,753,478	64,039,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	686,781	870,728
短期借入金	12,515,000	19,154,400
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	366,724	2,788,170
リース債務	236,828	395,098
未払金	1,182,045	1,428,784
未払法人税等	984,694	1,442,075
契約負債	619,554	463,476
賞与引当金	955,310	1,198,397
商品保証引当金	9,024	10,417
ポイント引当金	101,636	102,088
その他	296,924	510,418
流動負債合計	18,026,525	28,436,056
固定負債		
社債	140,000	68,000
長期借入金	3,113,170	4,825,000
リース債務	54,929	431,281
役員退職慰労引当金	23,598	23,598
商品保証引当金	558	610
ポイント引当金	127,681	177,879
退職給付に係る負債	116,737	126,063
資産除去債務	763,616	953,440
契約負債	69,921	115,816
その他	69,629	111,726
固定負債合計	4,479,842	6,833,416
負債合計	22,506,367	35,269,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	19,854,230	24,013,796
自己株式	△80,494	△80,858
株主資本合計	23,487,388	27,646,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,720	67,056
為替換算調整勘定	414,662	691,836
その他の包括利益累計額合計	445,383	758,892
非支配株主持分	314,338	364,519
純資産合計	24,247,110	28,770,002
負債純資産合計	46,753,478	64,039,475

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	86,113,626	119,459,909
売上原価	63,571,465	89,869,683
売上総利益	22,542,160	29,590,225
販売費及び一般管理費	17,373,200	22,137,306
営業利益	5,168,959	7,452,918
営業外収益		
受取利息	2,402	28,101
受取配当金	11,971	13,275
為替差益	5,056	31,923
受取手数料	5,828	4,576
受取保険金	3,240	16,066
受取補償金	540,806	18,653
その他	34,045	26,746
営業外収益合計	603,353	139,343
営業外費用		
支払利息	60,761	83,339
開店前店舗賃料	282,098	9,526
その他	22,795	20,230
営業外費用合計	365,655	113,096
経常利益	5,406,657	7,479,165
特別利益		
固定資産売却益	4,088	1,461
固定資産受贈益	—	15,273
助成金収入	29,366	2,752
その他	917	—
特別利益合計	34,372	19,486
特別損失		
固定資産売却損	—	96
固定資産除却損	12,164	40,432
賃貸借契約解約損	600	1,397
減損損失	102,733	99,792
臨時休業による損失	6,704	—
事業整理損	—	150,497
その他	—	745
特別損失合計	122,202	292,961
税金等調整前当期純利益	5,318,827	7,205,690
法人税、住民税及び事業税	1,680,675	2,349,861
法人税等調整額	△90,948	△191,570
法人税等合計	1,589,726	2,158,291
当期純利益	3,729,101	5,047,399
非支配株主に帰属する当期純利益	22,578	22,282
親会社株主に帰属する当期純利益	3,706,522	5,025,116

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,729,101	5,047,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,428	36,335
為替換算調整勘定	496,175	277,173
その他の包括利益合計	506,604	313,509
包括利益	4,235,705	5,360,908
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,183,908	5,310,727
非支配株主に係る包括利益	51,796	50,181

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,803,780	1,909,872	16,640,745	△80,494	20,273,902
当期変動額					
剰余金の配当			△493,036		△493,036
親会社株主に帰属する当期純利益			3,706,522		3,706,522
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,213,485	—	3,213,485
当期末残高	1,803,780	1,909,872	19,854,230	△80,494	23,487,388

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	20,292	144,049	164,341	262,541	20,700,786
当期変動額					
剰余金の配当					△493,036
親会社株主に帰属する当期純利益					3,706,522
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	10,428	270,613	281,041	51,796	332,838
当期変動額合計	10,428	270,613	281,041	51,796	3,546,324
当期末残高	30,720	414,662	445,383	314,338	24,247,110

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,803,780	1,909,872	19,854,230	△80,494	23,487,388
当期変動額					
剰余金の配当			△865,551		△865,551
親会社株主に帰属する当期純利益			5,025,116		5,025,116
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				△363	△363
当期変動額合計	-	-	4,159,565	△363	4,159,201
当期末残高	1,803,780	1,909,872	24,013,796	△80,858	27,646,589

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	30,720	414,662	445,383	314,338	24,247,110
当期変動額					
剰余金の配当					△865,551
親会社株主に帰属する当期純利益					5,025,116
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	36,335	277,173	313,509	50,181	363,326
当期変動額合計	36,335	277,173	313,509	50,181	4,522,891
当期末残高	67,056	691,836	758,892	364,519	28,770,002

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,318,827	7,205,690
減価償却費	1,215,498	1,658,118
減損損失	102,733	99,792
のれん償却額	68,255	79,134
賞与引当金の増減額 (△は減少)	189,360	240,376
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△263	1,444
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	73,988	49,872
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50,455	△27,692
契約負債の増減額 (△は減少)	141,115	△113,262
受取利息及び受取配当金	△14,374	△41,376
支払利息	60,761	83,339
為替差損益 (△は益)	11,293	2,548
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△4,088	△1,364
有形及び無形固定資産除却損	6,560	28,448
事業整理損	—	150,497
売上債権の増減額 (△は増加)	△518,776	△1,650,420
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,962,423	△5,597,111
未収入金の増減額 (△は増加)	△81,303	△728,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	140,493	134,793
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△140,289	13,830
未払金の増減額 (△は減少)	△98,102	287,827
その他	△275,717	△494,910
小計	3,284,002	1,381,015
利息及び配当金の受取額	13,394	40,588
利息の支払額	△60,900	△82,335
法人税等の支払額	△1,710,295	△1,894,684
法人税等の還付額	10,724	7,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536,926	△548,046
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,642,602	△2,717,157
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,727	1,462
差入保証金の差入による支出	△443,009	△493,950
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,131	—
差入保証金の回収による収入	163,808	38,920
その他	△20,001	△44,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,951,209	△3,215,320
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,118,000	6,624,500
長期借入れによる収入	—	4,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,349,596	△366,724
リース債務の返済による支出	△342,472	△393,866
社債の償還による支出	△84,000	△72,000
自己株式の取得による支出	—	△363
配当金の支払額	△492,930	△865,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,849,000	9,425,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	109,825	145,912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,544,542	5,808,437
現金及び現金同等物の期首残高	10,738,954	12,283,497
現金及び現金同等物の期末残高	12,283,497	18,091,934

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

1. 臨時休業による損失

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、従業員に対し支給した休業補償手当等を、臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

2. 事業整理損

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

株式会社イヴコーポレーションが、インポートアパレル販売事業からの撤退を含む事業再編を行うこととなりましたので、事業整理損として棚卸評価損等150,497千円を特別損失に計上しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ブランド・ファッション事業」、「タイヤ・ホイール事業」及び「不動産賃貸事業」を報告セグメントとしております。

「ブランド・ファッション事業」は、新品及び中古品の宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料、きもの、カメラ、楽器等の仕入及び販売等を行っております。「タイヤ・ホイール事業」は、乗用車用タイヤ・ホイール、自動車用品及び部品の企画、研究開発、製造、販売サービスを行っております。「不動産賃貸事業」は、店舗の賃貸管理のほか、グループ会社の主要店舗をグループ会社に賃貸等をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成を作成するために採用された会計基準に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び  
収益の分解情報

前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	ブランド・ ファッション 事業	タイヤ・ ホイール 事業	不動産賃貸 事業			
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	81,234,191	4,833,036	—	86,067,227	—	86,067,227
その他の収益	—	—	46,398	46,398	—	46,398
外部顧客への売上高	81,234,191	4,833,036	46,398	86,113,626	—	86,113,626
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	124	239,868	239,992	△239,992	—
計	81,234,191	4,833,160	286,266	86,353,618	△239,992	86,113,626
セグメント利益	4,856,390	245,702	84,929	5,187,023	△18,063	5,168,959
セグメント資産	39,057,773	2,849,262	2,521,180	44,428,217	2,325,261	46,753,478
セグメント負債	28,806,384	1,414,859	19,279	30,240,523	△7,734,155	22,506,367
その他の項目						
減価償却費	1,081,092	62,101	66,479	1,209,673	5,825	1,215,498
のれんの償却額	68,255	—	—	68,255	—	68,255
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,741,360	42,536	47,843	1,831,740	12,461	1,844,202

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△18,063千円には、セグメント間取引消去714,325千円、各報告セグメントに配分していない全社費用732,389千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,325,261千円は、セグメント間取引の消去額△11,614,030千円、及び、各報告セグメントに配分していない全社資産13,939,291千円であります。
- (3) セグメント負債の調整額△7,734,155千円は、セグメント間取引の消去額△7,909,738千円、及び、各報告セグメントに配分していない全社負債175,583千円であります。
- (4) 減価償却費の調整額5,825千円は、各報告セグメントに配分していない全社に共通する資産の減価償却費であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額12,461千円は、各報告セグメントに配分していない全社に共通する資産の増加額であります。
- (6) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

2. 「その他の収益」は企業会計基準第13号「リース会計基準」に基づくものであります。

当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	ブランド・ ファッション 事業	タイヤ・ ホイール 事業	不動産賃貸 事業			
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	114,339,446	5,073,822	—	119,413,268	—	119,413,268
その他の収益	—	—	46,640	46,640	—	46,640
外部顧客への売上高	114,339,446	5,073,822	46,640	119,459,909	—	119,459,909
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	9	240,450	240,459	△240,459	—
計	114,339,446	5,073,831	287,090	119,700,368	△240,459	119,459,909
セグメント利益	6,891,127	267,606	86,627	7,245,361	207,557	7,452,918
セグメント資産	55,082,715	2,877,023	2,883,486	60,843,225	3,196,249	64,039,475
セグメント負債	41,207,452	1,259,703	19,279	42,486,435	△7,216,962	35,269,473
その他の項目						
減価償却費	1,523,012	61,406	64,802	1,649,221	8,897	1,658,118
のれんの償却額	79,134	—	—	79,134	—	79,134
減損損失	79,548	20,244	—	99,792	—	99,792
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	3,121,436	43,111	399,119	3,563,666	17,099	3,580,766

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額207,557千円には、セグメント間取引の消去額△998,649千円、各報告セグメントに配分していない全社費用791,092千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,196,249千円は、セグメント間取引の消去額△12,205,529千円、及び、各報告セグメントに配分していない全社資産15,401,779千円であります。
- (3) セグメント負債の調整額△7,216,962千円は、セグメント間取引の消去額△7,471,596千円、及び、各報告セグメントに配分していない全社負債254,634千円であります。
- (4) 減価償却費の調整額8,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社に共通する資産の減価償却費であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額41,503千円は、各報告セグメントに配分していない全社に共通する資産の増加額であります。
- (6) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

2. 「その他の収益」は企業会計基準第13号「リース会計基準」に基づくものであります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	ブランド・ ファッション 事業	タイヤ・ ホイール事業	不動産賃貸事業	全社・消去	合計
減損損失	76,775	8,075	17,882	—	102,733

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	ブランド・ ファッション 事業	タイヤ・ ホイール事業	不動産賃貸事業	全社・消去	合計
減損損失	79,548	20,244	—	—	99,792

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1 株当たり純資産額	2,184.37円	2,592.62円
1 株当たり当期純利益	338.30円	458.65円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,706,522	5,025,116
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,706,522	5,025,116
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,956,372	10,956,342

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年4月3日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社K-ブランドオフ(以下「K-ブランドオフ」)が株式会社RECL0(以下「RECL0」)の発行済株式の100%を取得し子会社化することを決議しました。なお、K-ブランドオフを存続会社とし、RECL0を消滅会社とする吸収合併を2024年7月1日に行う予定であります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社RECL0
事業の内容	ハイブランド専門のリセールサイト「RECL0」事業
事業の規模	純資産 637,919千円
	総資産 949,029千円
	売上高 168,390千円

(注) 1 2024年3月期の数値であり、当社の会計監査人の監査証明を受けておりません。

2 上記記載は、本決算短信提出日現在の情報であります。

(2) 企業結合を行う主な理由

当社グループを取巻くリユース業界は、持続可能な社会に向けた価値観の変化により消費者のニーズが高まっている一方、サービスやチャネルの増加に加え、業界再編によるM&Aの活性化、新規参入の企業も多いことから、買取・販売競争は激化の一途を辿っております。このため、当社グループは、主力事業であるブランド・ファッション事業において、ブランドリユース業界でのトップシェアを確保し、総流通量の拡大を図ることで中長期的な収益力強化を目指しており、新規出店や買取イベントなどの個人買取強化、オークション事業等の法人事業強化、海外事業の強化、商品管理機能やECの強化などの経営戦略に取り組んでおります。

RECL0は、「Refresh your closet!世界中のクローゼットを開放する」をミッションに、主に中古ブランド品の買取・販売事業を行うECサイト「RECL0」を運営している企業であります。同社は、2017年から中国への展開を始め、中国本土最大手のECサイト「Tmall」等に強固な個人顧客の基盤を有し、越境ECに強みをもっており、国内においては、中古ブランドファッションアイテムを扱う他社ECモールと協業し買取りを請け負う等、顧客接点が高いことも特徴であります。

本孫会社化により、K-ブランドオフとRECL0、両社がそれぞれ有するブランドリユース業界におけるノウハウやネットワーク、顧客基盤、人材等を一体化し、最大限に活用することで、今後拡大が見込まれるアジアのラグジュアリー市場での影響力を高めていくとともに、当社グループの更なる成長につなげ、企業価値の向上を目指します。

(3) 企業結合日

2024年4月3日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社RECL0

(6) 取得する議決権比率

取得後の議決権比率 100%

2. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

(1) 異動前の所有株式数 0株(議決権所有割合:0%)

(2) 取得価額 358,760千円(手付金)

(3) 異動後の所有株式数 2,000株(議決権所有割合:100%)

3. 主要な取得関連費用の内訳および金額

直近の貸借対照表をもとに残金を精算するため、現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産および引き受ける負債の額ならびにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(子会社の設立)

当社は、2024年4月12日の取締役会において、当社連結子会社であるKOMEHYO BRAND OFF ASIA LIMITEDがマレーシアに子会社を設立することを決議しました。

1. 設立の目的

当社グループのブランド・ファッション事業におけるグローバル戦略は、「KOMEHYO」や「BRAND OFF」など複数の屋号と、「買取り」「小売り」「卸売り」「オークション」という国内シェア最大規模を持つ4つのチャネルを活用した最適な組み合わせを進出都市に応じて展開し、現地にリユース文化を根付かせながら成長していくこと目指しております。

海外ブランドリユース市場でシェアを拡大していくうえで、経済成長が著しいマレーシアは、一人当たりの所得がASEANの中でシンガポールに次いで高いなど、様々な観点で重要な拠点になると考え注目しておりました。KOMEHYO MALAYSIA SDN. BHD. (仮称) を設立することで、マレーシア国内でのリユース文化の形成を目指すとともに、ASEANにおけるKOMEHYOのさらなる成長と海外ブランドリユース市場におけるシェア拡大を実現してまいります。

2. 当該連結子会社の概要

- (1) 商号 KOMEHYO BRAND OFF ASIA LIMITED
- (2) 所在地 香港
- (3) 代表者 竹尾 英郎
- (4) 事業の内容 宝石・貴金属、時計、バッグの仕入及び販売
- (5) 登録資本金 100百万香港ドル
- (6) 設立年月日 2008年4月11日
- (7) 決算期 12月末日
- (8) 出資比率 株式会社 K-ブランドオフ 100%

3. 設立する会社の概要

- (1) 商号 KOMEHYO MALAYSIA SDN. BHD. (仮称)
- (2) 所在地 クアラルンプール
- (3) 代表者 今井 亨
- (4) 事業の内容 宝石・貴金属、時計、バッグの仕入及び販売
- (5) 登録資本金 6百万マレーシアリングgit (日本円でおおよそ2億円)
- (6) 設立年月日 2024年4月15日
- (7) 決算期 12月末日
- (8) 出資比率 KOMEHYO BRANDOFF ASIA LIMITED 100%